

令和5年度

歳入歳出決算補充説明書

防災対策部



防災対策部の所管する令和5年度歳入歳出決算につきまして、お手元の「令和5年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」によりご説明申し上げます。

令和5年度の防災対策部関係の歳入につきましては、予算現額11億163万1,200円に対し、調定額、収入済額とも10億3,301万3,394円となっております。

それでは、歳入決算の詳細につきまして順次ご説明申し上げます。

まず、44頁、第7款「分担金及び負担金」第2項「負担金」第6目「総務費負担金」のうち当部関係は、45頁の「災害救助費負担金」で、予算現額80万2,000円に対し、調定額、収入済額とも80万1,895円となっております。

次に、46頁、第8款「使用料及び手数料」第1項「使用料」第1目「総務使用料」のうち当部関係は、予算現額295万6,000円に対し、調定額、収入済額とも297万720円であり、その内訳は次のとおりです。

科 目	収入済額 (円)
土地使用料	724,667
建物使用料	2,246,053
合 計	2,970,720

また、50頁、第2項「手数料」第1目「総務手数料」のうち当部関係は、予算現額8,487万7,000円に対し、調定額、収入済額とも8,228万9,775円であり、その内訳は次のとおりです。

科 目	収入済額 (円)
消防法関係手数料	38,952,700
ガス関係手数料	30,336,275
火薬関係手数料	2,542,200
電気関係手数料	10,458,600
合 計	82,289,775

従いまして、第8款「使用料及び手数料」の合計は、予算現額8,783万3,000円に対し、調定額、収入済額とも8,526万495円となっております。

次に、70頁、第9款「国庫支出金」第1項「国庫負担金」第2目「総務費負担金」のうち当部関係は、71頁の「国民保護訓練費負担金」で、予算現額72万3,000円に対し、調定額、収入済額とも29万5,298円となっております。

また、78頁、第2項「国庫補助金」第1目「総務費補助金」のうち当部関係は、予算現額467万3,000円に対し、調定額、収入済額とも457万3,569円であり、その内訳は次のとおりです。

科 目	収入済額 (円)
社会資本整備総合交付金	279,000
消防庁補助金	4,294,569
合 計	4,573,569

従いまして、第9款「国庫支出金」の合計は、予算現額539万6,000円に対し、調定額、収入済額とも486万8,867円となっております。

次に、120頁、第10款「財産収入」第1項「財産運用収入」第2目「利子及び配当金」のうち当部関係は、121頁の「利子収入」の一部で、予算現額4万7,000円に対し、調定額、収入済額とも9円となっております。

また、同頁第2項「財産売払収入」第2目「物品売払収入」のうち当部関係は、予算現額70万円に対し、調定額、収入済額とも0円となっております。

従いまして、第10款「財産収入」の合計は、予算現額74万7,000円に対し、調定額、収入済額とも9円となっております。

次に、124 頁、第 11 款「寄附金」第 1 項「寄附金」第 2 目「総務費寄附金」のうち当部関係は、125 頁の「防災対策寄附金」で、予算現額 16 万 2,000 円に対し、調定額、収入済額とも 16 万 2,900 円となっております。

次に、128 頁、第 12 款「繰入金」第 2 項「基金繰入金」第 1 目「基金繰入金」のうち当部関係は、予算現額 2 億 1,713 万 6,000 円に対し、調定額、収入済額とも 1 億 7,996 万 3,922 円となっております。

次に、130 頁、第 13 款「繰越金」第 1 項「繰越金」第 1 目「繰越金」のうち当部関係は、予算現額、調定額、収入済額とも 1,198 万 1,200 円となっております。

次に、142 頁、第 14 款「諸収入」第 6 項「収益事業収入」第 1 目「宝くじ収入」のうち当部関係は、予算現額、調定額、収入済額とも 4 億 719 万 6,000 円となっております。

また、同頁、第 8 項「雑入」第 2 目「雑入」のうち当部関係は、予算現額 4,837 万 8,000 円に対し、調定額、収入済額とも 4,677 万 8,106 円であり、その内訳は次のとおりです。

科 目	収入済額 (円)
雑入	46,667,706
広告収入	110,400
合 計	46,778,106

従いまして、第 14 款「諸収入」の合計は、予算現額 4 億 5,557 万 4,000 円に対し、調定額、収入済額とも 4 億 5,397 万 4,106 円となっております。

次に、148 頁、第 15 款「県債」第 1 項「県債」第 1 目「総務債」のうち当部関係は、予算現額 3 億 2,200 万円に対し、調定額、収入済額とも 2 億 9,600 万円であり、その内訳は次のとおりです。

科 目	収入済額 (円)
広域防災拠点維持管理費充当	43,000,000
防災対策総務調整費充当	4,000,000
学校運営管理費充当	221,000,000
災害対策管理費充当	20,000,000
防災情報プラットフォーム事業費充当	8,000,000
合 計	296,000,000

以上、歳入決算の概要についてご説明申し上げました。引き続き、歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

令和5年度の防災対策部関係の歳出につきましては、予算現額 29 億 5,048 万 2,200 円に対し、支出済額 25 億 9,009 万 6,410 円で、翌年度繰越額 1 億 2,488 万 6,000 円、不用額 2 億 3,549 万 9,790 円となっております。

それでは、歳出決算の詳細につきまして順次ご説明申し上げます。

まず、第2款「総務費」のうち当部関係は、200 頁、第2項「企画費」第5目「危機管理費」であり、予算現額 107 万 7,000 円に対し、支出済額 96 万 8,220 円、不用額 10 万 8,780 円となっております。

これは、県政を取り巻くさまざまなリスクに対応できる職員の育成に係る研修等を行う「危機管理推進事業費」に要した経費です。

次に、234 頁、第8項「防災費」につきましては、予算現額 29 億 4,940 万 5,200 円に対し、支出済額 25 億 8,912 万 8,190 円、翌年度繰越額 1 億 2,488 万 6,000 円、不用額 2 億 3,539 万 1,010 円となっております。

まず、同頁、第1目「防災総務費」は、予算現額 23 億 5,440 万円に対し、支出済額 20 億 2,789 万 647 円、翌年度繰越額 1 億 2,488 万 6,000 円、不用額 2 億 162 万 3,353 円となっております。

支出済額の主な内容は、職員の人件費である「給与費」、広域防災拠点の整備や災害備蓄物資の管理を行う「防災対策費」、防災ヘリコプターの運航にかかる「防災ヘリコプター運航管理費」、など、防災対策の推進にかかる各種事業に要した経費であり、その内訳は次のとおりです。

事業名	支出済額（円）
給与費	677,807,462
防災対策費	298,970,644
地震対策費	156,492,283
防災行政無線等管理費	190,423,805
防災行政無線整備事業費	367,055
防災ヘリコプター運航管理費	669,642,419
その他（防災総務費、国民保護費）	34,186,979
合計	2,027,890,647

また、翌年度繰越額は、「防災対策費」の1億2,488万6,000円であり、これは、令和6年能登半島地震の被災地に提供した備蓄物資の補充等に伴う費用で、年度内での完了が見込めないことから繰り越したものです。

なお、不用額の主なものは「地震対策費」の地域減災力強化推進補助金の実績による執行残などです。

次に、236頁、第2目「消防指導費」は、予算現額5億3,019万7,200円に対し、支出済額4億9,960万7,839円、不用額3,058万9,361円となっております。

支出済額の主な内容は、消防団等の普及啓発・活性化促進にかかる「消防費」、消防学校の運営管理と施設整備にかかる「消防学校費」など、県内の消防体制の確立にかかる事業に要した経費であり、その内訳は次のとおりです。

事業名	支出済額（円）
消防費	35,934,016
予防費	33,409,290
消防学校費	430,264,533
合計	499,607,839

なお、不用額の主なものは、「消防学校費」の実績減などです。

次に、238頁、第3目「銃砲火薬ガス等取締費」は、予算現額1,950万7,000円に対し、支出済額1,640万2,947円、不用額310万4,053円となっております。

これは、高圧ガス製造販売施設等の設置許可及び完成検査、保安検査等にかかる「高圧ガス費」、銃砲火薬類の取り締まり、電気工事士免状の交付等に要した経費であり、その内訳は次のとおりです。

事業名	支出済額（円）
高圧ガス費	14,825,351
銃砲火薬類取締費	390,923
電気関係取締費	1,186,673
合 計	16,402,947

なお、不用額の主なものは、「高圧ガス費」の実績減などです。

最後に、240 頁、第 4 目「災害救助費」ですが、予算現額 4,530 万 1,000 円に対し、支出済額 4,522 万 6,757 円、不用額 7 万 4,243 円であり、これは、災害救助基金の積立等に要した経費です。

なお、不用額は、「災害救助事業費」の実績減です。

以上をもちまして、防災対策部関係の令和 5 年度歳入歳出決算の概要説明を終わらせていただきます。

何とぞ、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。